

## ペアハッチ 3 子牛を2頭で飼うことのメリット

トータルハードカーフサービスでの研究

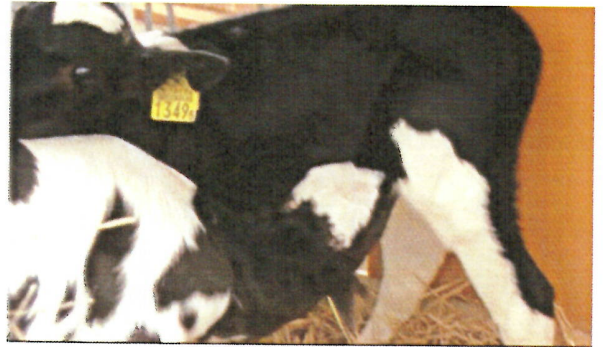
前回号では「しばらくしてからペアにしたものに比べて、出生後早めにペアにしたものの方がスターターの食いはじめと食い上がりの早さで優っており、そのメリットを得るには少なくとも6週令以内にペアにする必要がある」「新しいものを見たり経験する時の恐怖行動「ネオフォビア」の観点からも生後1、2週令でのペアがいいようだ」というを報告をしました。

多くの人に聞かれるのが、ペアにすることで **吸いあいなどの問題行動は無いのか？** ということです。

カーフサービスでの観察では「全く無いわけではないが、ほぼ無い」です。

どうやら吸いあいの問題行動が無いよう管理するにはいくつかのポイントがあるようです。

- ① 乳首のついた哺乳ビンまたはバケツで給与する
- ② 十分な量の哺乳をおこなう(1日6~8ℓ以上)
- ③ ミルクを飲み終わってもすぐに哺乳ビンを片付けずに吸いたいだけ吸わせておく。15分も吸っていたら飽きる。
- ④ 生後少なくとも3日くらいはペアにせず、ミルクを乳首で飲む ことに慣らし、乳首に吸い付く癖をつける。



ペアで問題となる吸いあいなどの問題行動



**子牛には乳首を吸いたい欲求**があります。

これを満たしてやらないと、子牛同志の吸いあいや別の何かを吸う行動をとるようです。

左の写真は乳首のついていないただのバケツで哺乳している農場の子牛です。この農場の全ての子牛がミルクを飲み終わった後、バケツの縁や取っ手、ハッチの鉄柵をしきりに吸う行動をしています。



**満腹で欲求の満たされた子牛はすぐに寝ます。**

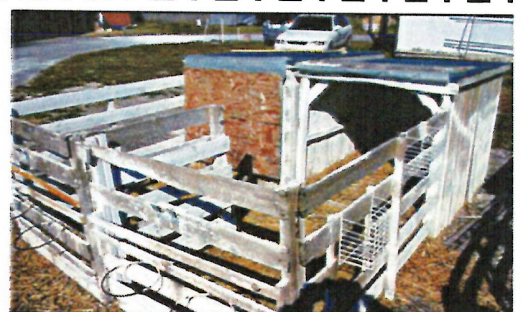
カーフサービスでは右の写真のように、ミルクが無くなっても子牛が乳首を吸っている間は哺乳バケツは片付けません。その間ちょっとした仕事をするようにし、15分くらいして子牛が吸うのを飽きてスターターを食いにいったり、寝たりした頃に回収します。

### ハッチ大改造 ビフォーアフター

カーフサービスの外にある木製の庭付きハッチをペアハッチに改造してみました。



どこにでもあるようなハッチが匠の技によって・・・



なんてことでしょう！二つのハッチをくっつけ、庭をつなげ、ハッチの中もつながっています！